

## 主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【英語科】

### 1. 対象 2年生

生徒は、これまでに、現在、過去、未来のそれぞれの時制や不定詞(名詞的用法)接続詞を用いた複雑な文、助動詞(can, will, may)を用いた相手に依頼する表現を学習している。本単元では、have toや助動詞must, shouldを使った言い方を習得することを目的としている。また、「総合的な学習の時間」で防災学習として、防災バッグの中身について考えている。本単元と関連付けて、本校の外国籍の生徒や9月から新しくなったALT、外国籍の級友に向けた英文を書く活動を行っていく。

### 2. 単元名「Quake Drill 防災訓練」(全9時間)

### 3. 単元で育成を目指す資質・能力

|                       |  |
|-----------------------|--|
| <b>知識及び技能</b>         | <ul style="list-style-type: none"> <li>・have toや助動詞must, shouldの特徴や決まりを理解している。</li> <li>・防災マニュアルを作るために、have toや助動詞must, shouldなどを用いて書く技能を身に付けている。</li> </ul> |
| <b>思考力, 判断力, 表現力等</b> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTや外国籍の級友のための防災マニュアルを作るために、地震がおきたときに大切なことなどについて、これまでの知識や経験を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書いている。</li> </ul>               |
| <b>学びに向かう力, 人間性等</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ALTや外国籍の級友のための防災マニュアルを作るために、地震がおきたときに大切なことなどについて、これまでの知識や経験を整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書こうとしている。</li> </ul>            |

### 4. 本時の目標

必要と考える防災グッズについて、have toや助動詞must, shouldや簡単な語句を用いて英文を書くことができる。

### 5. 授業展開【 本時 】

|                                      |
|--------------------------------------|
| <b>解決したい課題や問い</b>                    |
| 家の防災バッグに備えておくべきものを、ALTや外国籍の級友にも伝えよう。 |

| 考えるための材料   |   |
|--|---|
| 材料   | 想定される活動   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・<a href="http://bousai.go.jp">防災情報のページ - 内閣府 (bousai.go.jp)</a></li> <li>・<a href="http://mlit.go.jp">国土交通省 防災ポータル (mlit.go.jp)</a></li> <li>・<a href="http://kantei.go.jp">災害に対するご家庭での備え～これだけは準備しておこう！～  首相官邸ホームページ (kantei.go.jp)</a></li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災グッズを利用する時の活用方法について、知識を深める。</li> <li>・災害によって、必要となるものは違うのかな。</li> </ul> |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・防災グッズのカード</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・カードを並べて、実際にバッグに入るのか、慌てているときに運べる重さか、などを考える。</li> </ul>                   |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現の確認(ヒントカード)<br/>Whenの表現、ifの表現、Becauseの表現<br/>have to, must, shouldの表現</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・英文を考えたときのヒントになる。</li> <li>・「～だから」と言いたいから、どの英単語を用いればよいか。</li> </ul>      |

## 対話と思考(対話を通した協働的な問題解決のプロセス)

2 min (全体)Greeting / Warm-Up

5 min (個人)備えるべき防災グッズを英語で説明してみよう。

<S1> Food : I pack food.

<S2> Flashlight : I pack a flashlight.

3 min (個人)思いをより伝える方法は？場面は？絶対必要？

<S1> Food : I should pack food.

<S2> Flashlight : I should pack a flashlight.

15 min (グループ)班で考えた英文を伝えたり、訂正したりしよう。

<S1> Food: I should pack food. I will be hungry. という文を考えたよ。

<S2> 私も「食べ物」が必要だと思ったよ。

私が考えた文はこれだよ(見せる) When I am hungry I can't move.

<S1> whenのかたまりのときは、, (カンマ)をつけるんだったね。

<S2> We should pack a flashlight.

When something happens night and it's dark, we'll be in trouble.

<S2> 「夜に」という時, at nightっていうから, happensの後ろにatを入れた方が良いのでは？

<S3> 私の考えた文は, I think we should pack a towel.

Because we can use towels in many ways. だよ。

<S1> どんな時に使えるか, 付け加えると外国の人にも分かりやすいね。

10 min (個人)友達の意見を参考にして, +1の英文を考えよう。

<S3> I think we should pack a towel. It is because we can use towels in many ways.

For example, if we can't take a bath, we can wipe our bodies with towels.

5 min (個人)活動を振り返ろう

## 学習の成果(予想される生徒のあらわれ)

- ・「～すべき」のshouldは、主語と動詞の間に入れればよい。
- ・「～だから」と言いたいときは、becauseやsoを用いればよいことが分かった。
- ・どの人にとっても「水」は必要だと思った。
- ・相手に自分の考えを英語で伝えることは大変だと思ったけど、友達が使った表現を参考にして、自分の言いたいことを少しだけ伝えることができたと思う。
- ・自分が考えた防災グッズで、地域の外国人の命が1人でも多く助かってほしい。
- ・災害時にはhave toやmustを使って、自分の考えをしっかりと伝えていきたいと思った。